

2018年10月から2020年8月のスペクトル解析結果と考察(関口孝志)

8台のカメラの観測で、ほぼ2年で1600個近くのスペクトルが得られました。今回のデータは、2018年10月から2020年8月までを解析しました。解析結果を元に様々な関係図を作成し考察しました。今回は、散在や主要群のしぶんぎ群とペルセ群とふたご群の三角比を比べました。また、他の主要流星群や小流星群と比較しました。ペルセ群は、殆どノーマルタイプでした。みずがめ南群は、しぶんぎ群と似ていて4つのタイプに分かれていました。さらに、各月ごとに比べてみました。

主要群の群ごとのタイプ別の割合も調べました。群による違いが見られました。鉄流星の観測者ごとの違いや軌道比較から母天体候補を探しました。また、小流星群のいくつかの中からも母天体候補を探し母天体候補をいくつか見つけることができました。ペルセ群とふたご群の2年分の軌道要素等との関係の考察をしました。